

# 羽ばたけ! 輝け! 全国の舞台上

全国高校総合体育大会(インターハイ)が四国を会場に行われる。早い競技は今月23日に開幕。来月28日まで全国の精鋭が心と技を競い合う。関連となった本番を前に庄内から出場する県立高校7校各競技の選手を紹介する。

## 山岳 女子



左から岡部、小野、鈴木、土門の4選手

山岳競技は8月5-9日の日程で香川県まんのう町の笠形山、竜王山、大川山で行われる。酒東女子チームはいずれも3年生でリーダーの岡部愛衣選手、記録の小野千草選手と土門凜選手、読図の鈴木留衣選手の4人。

顧問の樋口駿教諭は「同学年なのでいろいろと言いつけるのが強みでチームワークは良い。昨年秋の県大会は3位だったので、悔しさをバネに練習を重ねてきた」と話す。

平日の練習は週8時間ほど。天気図の作成、テントの設営、装備品を背負っての階段の上り下りなど地味だが厳しいトレーニングを重ねてきた。月2回程度鳥海山などでの登山も行っている。

選手たちは「4人で登山をするのもこれが最後になる。山形県を代表して出場するので、自分たちの3年間の集大成が出せるよう頑張りたい」と決意を述べた。



テント設営練習。素早く正確に設営できるかも審査の一つ



岡部 愛衣選手 お互いにフォローができるバランスのいいチーム。香川県の山を楽しみながら上位入賞を目標に頑張りたい。



# 酒田東高等学校

## 陸上 男子走り幅跳び

早藤 海音選手(2年)

まずはインターハイでの自己ベスト更新を目指す早藤選手



8月3-7日に徳島県で開催。県総体は6位98を記録して1位、東北総体では追い風参考ながら7位17を跳んで5位となり、徳島県鳴門市の大塚スポーツパークポカリスエットスタジアムに駒を進めた。

泉小3年の時、酒田市のSRKジュニアクラブに入会。「何となくおもしろそうと思った。空を跳んでいる瞬間は爽快」と入会当初から走り幅跳びを専門としている。

自己ベストは国体県予選で跳んだ7位08。高校に入ってから30秒ほど記録が伸びたという。現在はスタート時に重心が後ろになる点を改善するための練習を反復。初出場について「追い風参考ではなく、公式記録で7位17を飛びたい。仮にこの跳躍をしても上位進出は難しいと思うが、これまで指導してくれた人たちに感謝の気持ちを込め、見られて恥ずかしくない跳躍をする」と話す。

7月 酒田新聞 4